

出願を検討されている皆様へ

地域共生マネジメントプログラムについて

本プログラムに興味をお持ちいただき誠にありがとうございます。不明点等ありましたら、農学部入試事務室までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【修了要件】修業年限 1 年 (2 年を超えることはできません)

- ・修士課程に原則1年以上在学し、環境共生学分野から「地域環境計画学特論」2 単位、生物資源科学分野から「生産環境システム学特論 I」2 単位及びプログラムの科目 26 単位、計 30 単位を修得する。
- ・必要な研究指導を受けた上、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。

【授業科目】

- ・来年度時間割は未定ですが、例年、地域共生講義は水曜日に集中して実施しています。

各講義は全 15 回～16 回あります。(学年暦参照) 計 30 単位(全て必修科目)

動植物環境共生学特論	前期水曜 1 限	2 単位
生命産業科学特論	前期水曜 2 限	2 単位
生産環境システム学特論 I	前期水曜 4 限	2 単位
中山間地域管理学	前期水曜 5 限	2 単位
地域環境計画学特論	前期集中(例えば 6 月の土曜日 3 日間)	2 単位
地域連携・経営学特論 I	前期水曜隔週 6-7 限	2 単位
食品バイオサイエンス特論	後期水曜 3 限	2 単位
地域連携・経営学特論 II	後期水曜隔週 5-6 限	2 単位
地域課題探求演習 I・II	通年ゼミ科目	計 4 単位
特別課題研究	研究	10 単位

- ・講義科目では、毎回レポートが課されます。前期は講義・レポート提出・研究が中心で、後期は研究・論文作成で忙しくなります。
- ・本プログラム座学講義は、対面と Zoom 等のハイブリッド方式で実施します。講義室又はご自宅等で受講してください。
- ・仕事の都合等で、対面/Zoom リアルタイム受講ができなかった場合、授業録画を視聴しレポートを提出することで、出席扱いとします。録画視聴による出席扱いは原則として 1/3 程度までとしますが、自身の研究で出席できない場合には、この限りではありません。(研究のために週 1 日来学していれば、録画受講であっても対面受講とみなし、1/3 の内にカウントされません。)
- ・グループワークなど授業の性質上、対面/リアルタイム受講を担当教員が求める回については、入学ガイドンにて予めその授業日を提示します。
- ・指導教員による研究指導は、対面で実施するため、伊那キャンパスに来学する必要があります。

【授業時間】※感染症対策のため、午後の授業を30分繰り下げる場合があります。

1時限	9時00分～10時30分	5時限	16時20分～17時50分
2時限	10時40分～12時10分	6時限	18時00分～19時30分
3時限	13時00分～14時30分	7時限	19時40分～21時10分
4時限	14時40分～16時10分		

【研究】

- ・ご自身の研究課題を指導教員の指導のもと、進めてください。
- ・1月末に特定課題研究成果報告書を提出します。2月上旬に特定課題研究成果発表会にて成果を発表します。
- ・1年間という短い期間ですので、入学試験合格後～入学前の間は準備期間として捉えていただき、指導教員と相談しながら研究計画をたて準備を進めてください。
- ・各自の勤務の都合を考慮し、希望する方に対し教育上特別の配慮が必要と認められる場合には、夜間その他特定の時間または時期において授業又は研究指導を行います。指導教員の承認を得て、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。その時間帯は、原則として、平日は夜間の18時から19時30分までの間、土曜日は9時から16時10分までの間を予定しています。(必ずしも希望どおりに開講できるわけではありませんのでご了承ください。)希望される方は、指導教員と面談を行い、履修計画を立ててください。
- ・遠方通学者の方は、学内宿泊施設を利用することができます(1泊4,000円)。

【※出願に際して※】

- ・募集要項を必ずご確認ください
- ・出願を検討している方は、出来るだけ早めに指導を希望する教員にコンタクトを取ってください。今どのような課題に取り組んでいるか、大学でどんな研究をしたいか等伝えてください。連絡先が分からない場合には、農学部学務グループ入試事務室へご連絡ください。
出願には、指導教員の受入れ承諾が必要になります。指導教員と十分に打ち合わせをした上で、出願準備をしてください。教員の研究内容については、下記「農学部研究紹介」「研究者総覧」を参考になさってください。
- ・1年間で修了を目指すため、出願時に既に業務で取り組んでいる課題があり、調査・データ収集等をされていることが望まれます。(職場で取り組んでいる課題を大学教員と解決していくプログラムです。)
- ・平日(例年水曜日に集中)に通学、最終的に論文を作成する等のため、職場での理解が必要になります。
- ・「専門実践教育訓練給付制度」指定講座です。この制度を利用希望の方は、受給資格の有無等について早めにハローワーク等でご確認ください。

農学部研究紹介 <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/overview/labo/>

研究指導ができる教員一覧 https://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/scienceandtechnology/kenkyu_Jp_17.pdf